

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL : 019-623-5575
FAX : 019-623-5576

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

工場・倉庫の「自家消費型太陽光発電」とは？

「自家消費型太陽光発電」とは、自社の施設や住宅に太陽光パネルを設置し、発電した電力を自己消費するシステムです。

近年、FIT（固定価格買取制度）買取価格の低下や電気代の高騰にともない、「自家消費型太陽光発電」が注目されています。

本記事では、「自家消費型太陽光発電」の概要や、導入メリット、導入成功事例などについて解説します。



工場の自家消費型
太陽光設置イメージ

「自家消費型太陽光発電」の導入メリット

1) 電気料金の削減

「自家消費型太陽光発電」は、自家の発電余剰電力を使って電力を供給することで、電気料金の削減につながります。太陽光発電は昼間に発電能力が最大化されるため、工場や倉庫のような昼間に電力需要が高まる場所では有効です。

特に、2020年以降のコロナ不況により電気料金が高騰しているため、電気使用料のカットにより企業の運営コストを削減することができます。

2) 補助金の利用

自家消費型太陽光発電には、政府や地方自治体が提供する補助金や助成金を活用することができます。

これらの補助金は、太陽光発電システムの導入費用の一部を補助するものであり、企業の負担を軽減する効果があります。

3) 政府の方針と環境への取り組み

多くの国や地域が再生可能エネルギーの導入を推進する政策を採用しており、「自家消費型太陽光発電」はその一環としてサポートされています。

政府がエネルギー転換や環境保護を重視しているため、「自家消費型太陽光発電」の導入は、企業の社会的責任の一環としても評価されます。

工場・倉庫の「自家消費型太陽光発電」導入のすすめ

工場・倉庫の「自家消費型太陽光発電」導入の成功事例

さいたま市の食品製造業A社では、工場屋根に「自家発電型太陽光発電」を設置しました。

同社では、2020年に「自家発電型太陽光発電」の導入（システム容量：44.4kW、予測年間発電量：3,151,895kWh）を決めました。

導入当時は、今ほどCO₂及び電気代削減の動きは強くなかったのですが、時代の潮流やエネルギー問題が経営に影響すると予測し早期の導入を決断しました。

導入した結果、年間電気代削減金額957,000円、年間削減電気使用量31,844kWhとなっています。

2020年以降のコロナ不況などに伴い、国内では電気代が高騰したため当時のシミュレーションより削減効果が大きく上回っており、予想以上のコスト増の低減となっています。

「自家発電型太陽光発電」を効率よく運用するポイントは、工場消費量に見合ったシステム導入です。

工場稼働停止日が土日等あるため、屋根全面に設置すると電気が余るので、必要量だけ太陽光パネルを設置しています。

まとめ

いかがでしたでしょうか？電気代や太陽光パネルの原材料価格の値上げが進む今、早めに「自家発電型太陽光発電」を進めて先行者メリットを受けましょう。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

（お問合せ窓口：牟田、佐久山）

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで